

大気環境(大気質)の調査の状況



恵那市
(気象、一般環境大気)



可児市
(道路沿道大気)

県内の調査地点数:24地点

騒音・振動の調査の状況



中津川市
(一般環境騒音・振動)



多治見市
(道路交通騒音・振動)

県内の調査地点数: 29地点

水環境(河川水量・水質)の調査の状況



可児市(久々利川)
採水(水質)



恵那市(阿木川)
流速測定

県内の調査地点数:24地点

水環境(地下水)の調査の状況



恵那市(西行ゆかりの水)



可児市(井戸)

県内の調査地点数:20地点

動物・植物の調査の状況



哺乳類



昆虫類



鳥類(希少猛禽類)



植物相調査

動植物の確認状況(冬季調査までの結果)



カヤネズミ



ハチクマ



イシガメ



トノサマガエル

分類	主な確認種
哺乳類	イノシシ、 <u>カヤネズミ</u> 、ニホンカモシカ など
鳥類	メジロ、 <u>ハチクマ</u> 、オオタカ など
爬虫類	アオダイショウ、マムシ、 <u>イシガメ</u> など
両生類	ニホンアマガエル、 <u>トノサマガエル</u> 、ニホンアカガエル など

下線: 写真掲載

動植物の確認状況(冬季調査までの結果)



ヒメタイコウチ



シマドジョウ



コガムシ



シデコブシ

分類	主な確認種
昆虫類	モンシロチョウ、 <u>ヒメタイコウチ</u> 、ギフチョウ など
魚類	アユ、アブラハヤ、 <u>シマドジョウ</u> など
底生動物	サワガニ、タベサナエ、 <u>コガムシ</u> など
植物	ヨモギ、 <u>シデコブシ</u> 、ハナノキ など

下線: 写真掲載

- これら動植物に関しては、文献調査や現地調査で確認された重要種、注目すべき生息地、群落に対する工事の実施、鉄道施設の存在による影響について、予測、評価していきます。
- 重要種等は、文化財保護法、種の保存法、環境省レッドリスト、岐阜県レッドデータブック等に掲載されているものを選定しています。
- なお、重要種の生息・生育に関する情報については、乱獲等の防止の観点から、「必要に応じ公開に当たって種及び場所を特定できない形で整理する等の配慮が行われるものとする事」※とされていることから、準備書では、生息地等を非公開とすることがあります。

※ 環境影響評価法に基づく基本的事項(抜粋)

(平成24年4月2日、環境省告示第63号)

景観の調査の状況



中津川市
苗木城址から見た恵那山と中津川市街

県内の調査地点数: 19地点

人と自然との触れ合いの活動の場の調査の状況

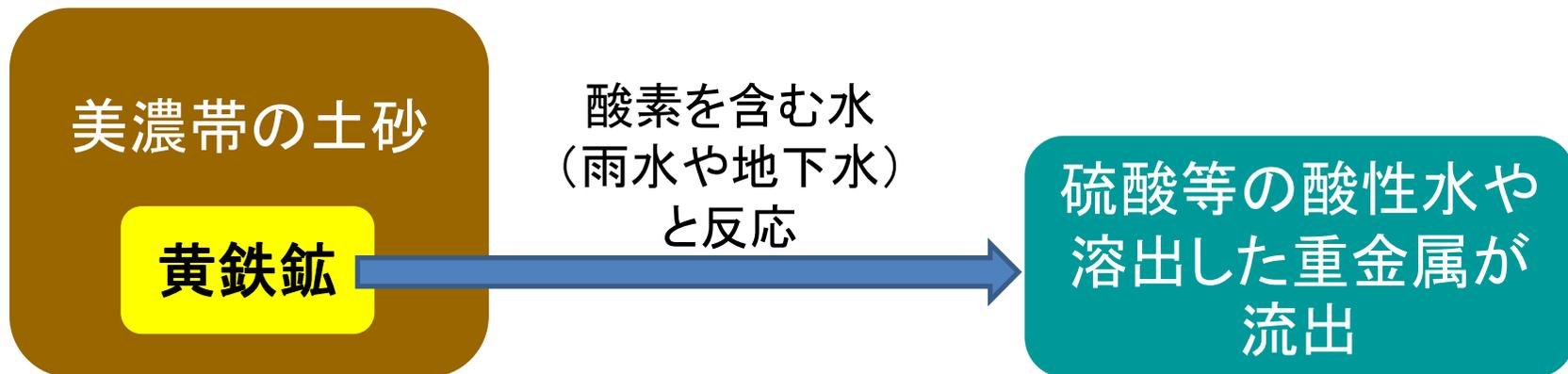


恵那市
東海自然歩道「中山道宿場めぐりみち」

県内の調査地点数:8地点

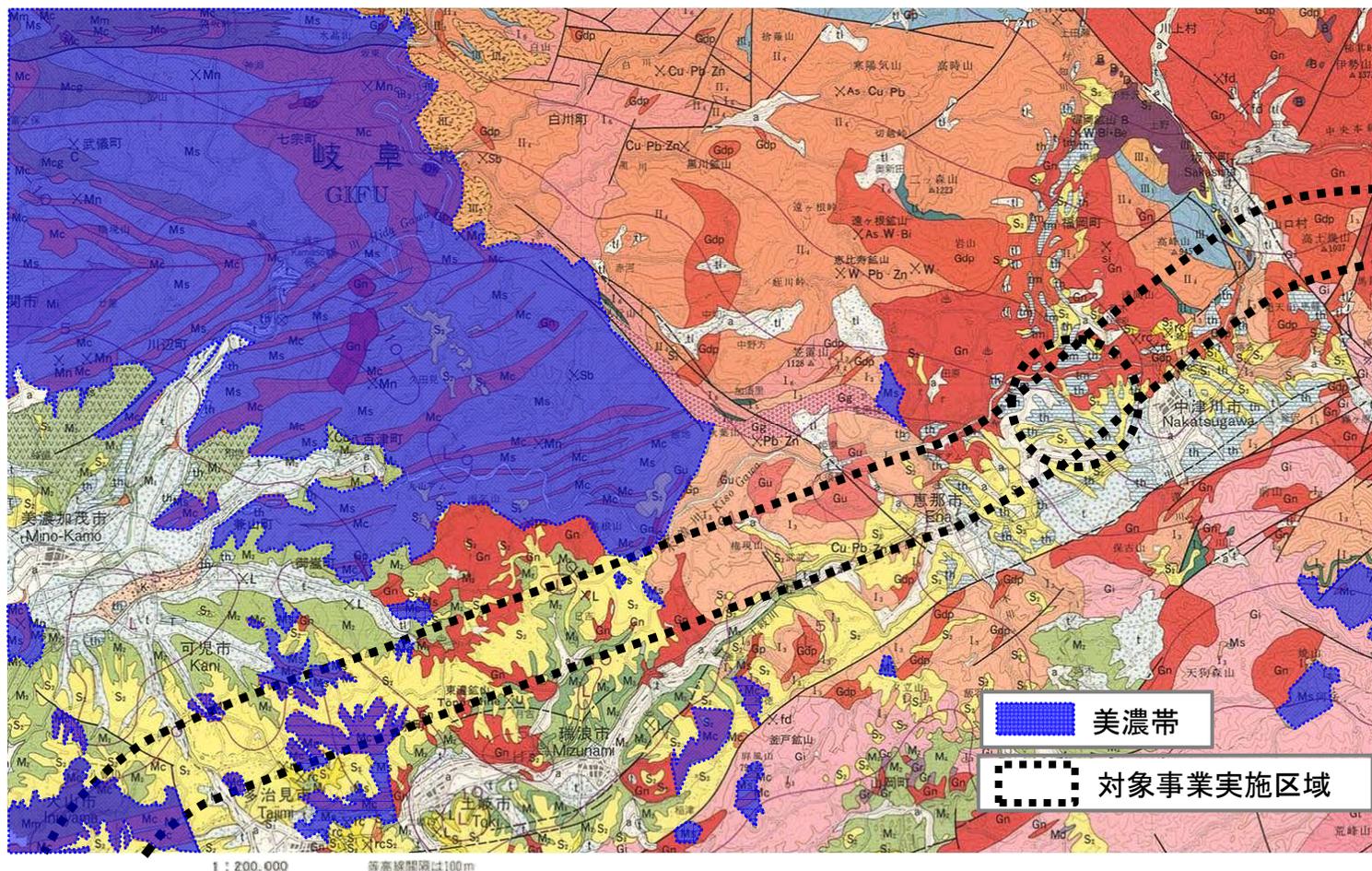
美濃帯について

- 過去に東濃地域のトンネル工事で、掘削土処理場から、美濃帯を掘削した土砂の中に含まれる黄鉄鉱に起因して、硫酸等の酸性水や溶出した重金属が流出した事象が発生しています。



美濃帯の分布状況

- 美濃帯の分布状況については、文献調査で把握し、対象事業実施区域内を現地踏査して、文献どおりであることを確認しました。



出典: 1/20万地質図 飯田(産業技術総合研究所)より抜粋し、一部加筆

黄鉄鉱を含む発生土の処理について

- 工事の際には、掘削時の土砂の外観調査等により黄鉄鉱の有無を把握します。
- 黄鉄鉱が確認された場合は、必要な調査を行い、法令等に基づき適切に処理いたします。

トンネル掘削発生土を遮水構造の二重シートで覆った後、緑化
(東北新幹線 八甲田トンネル)



出典：鉄道建設・運輸施設整備支援機構環境報告書2010

花こう岩と自然放射線量の関係

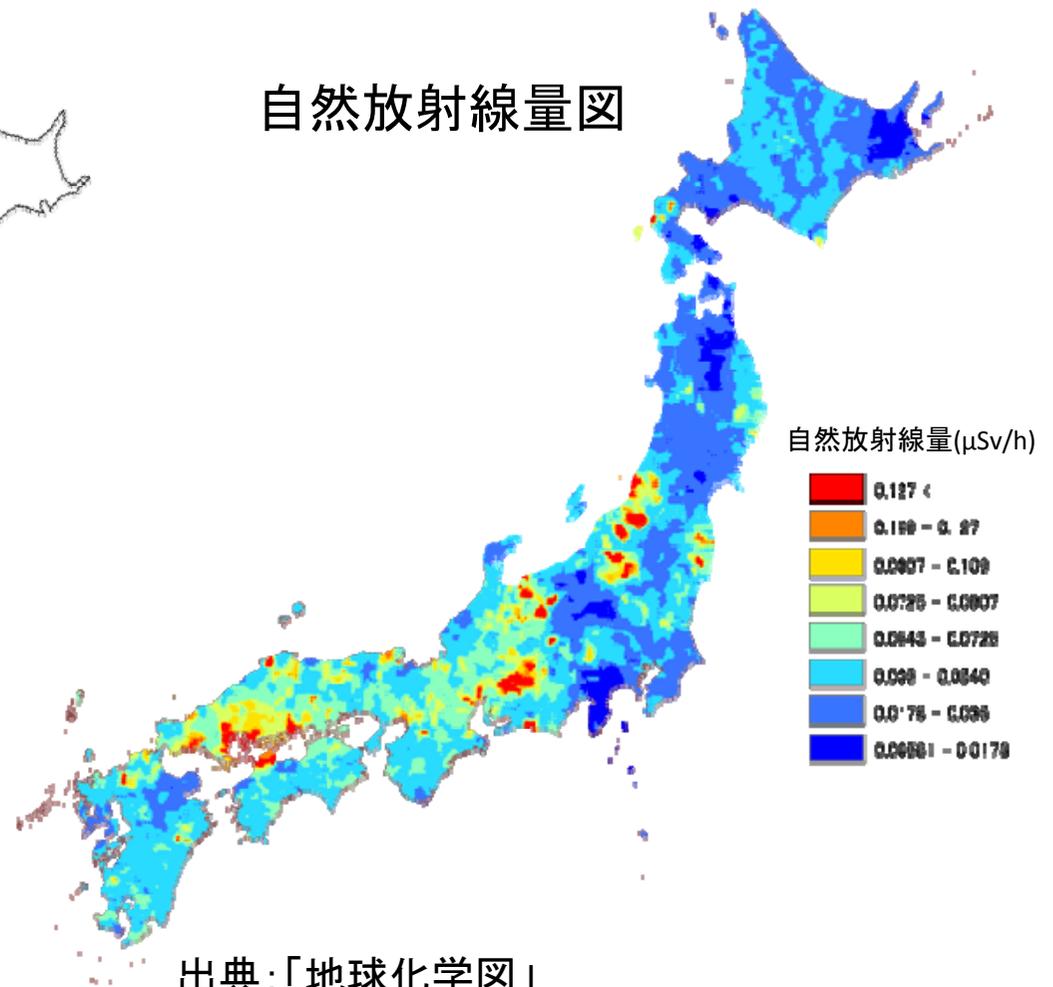
- 花こう岩はウラン等が含まれやすく、花こう岩が分布している地域は、自然放射線量が高くなる傾向があります。

花こう岩分布図



出典:「日本のウラン資源(Ⅱ)」
動力炉・核燃料開発事業団

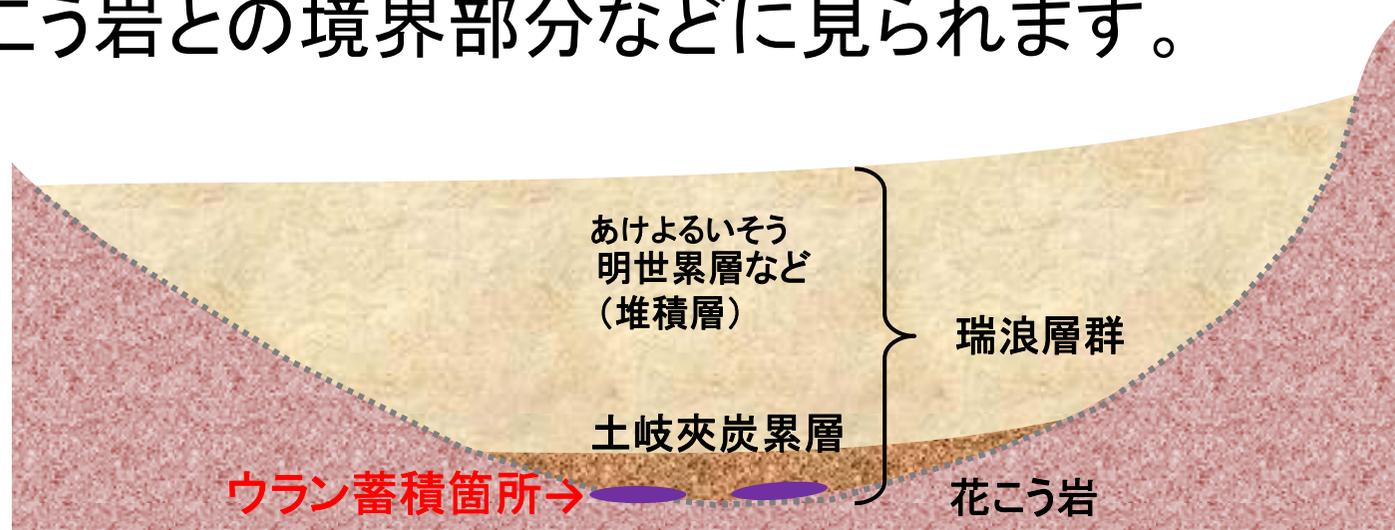
自然放射線量図



出典:「地球化学図」
産業技術総合研究所

ウラン鉱床の把握

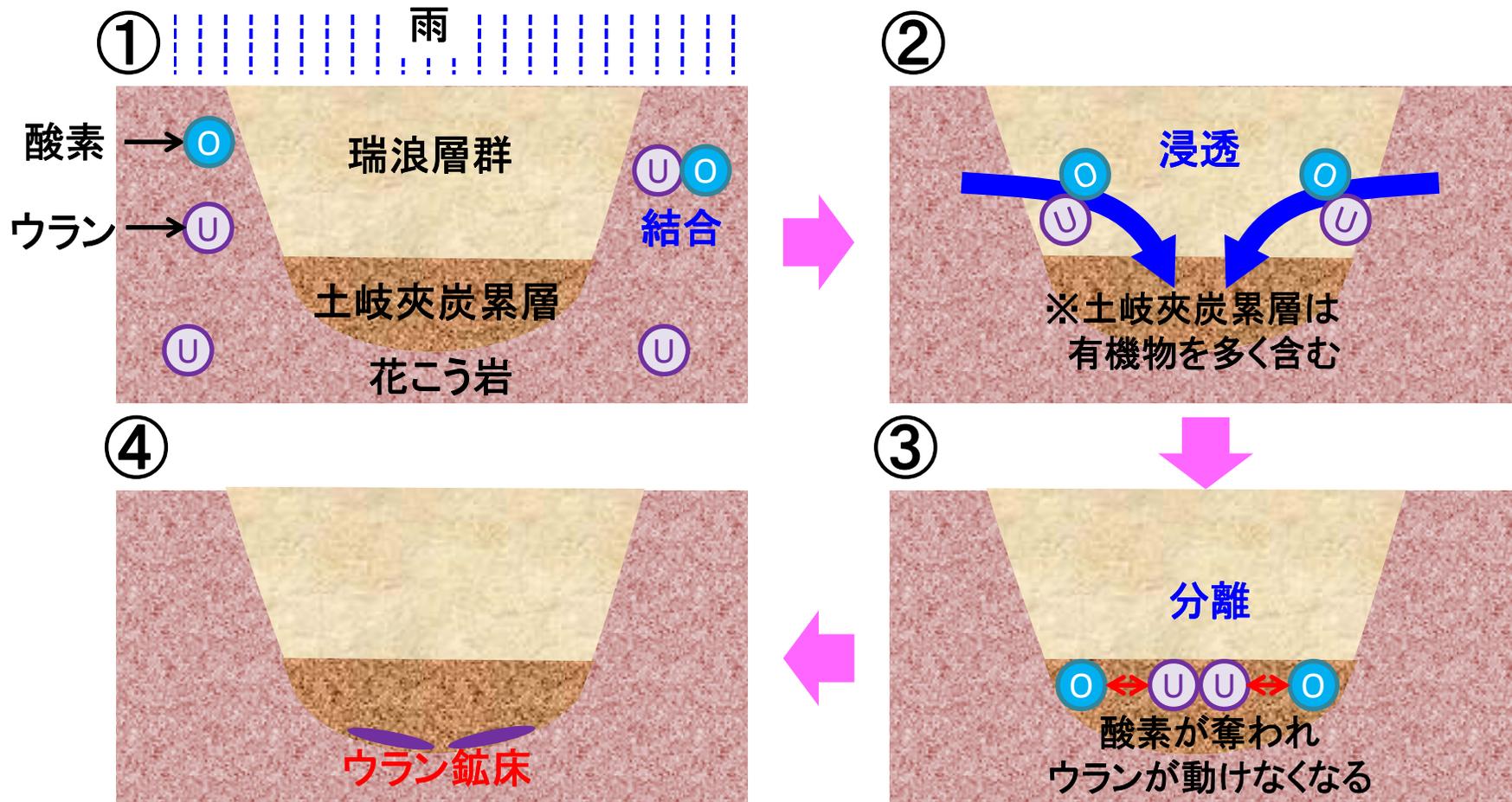
- ウラン鉱床については、独立行政法人 日本原子力研究開発機構（旧動燃）や専門家から、資料収集及びヒアリングを行いました。
- 旧動燃は、約1400本のボーリング調査を行い、ウラン鉱床の位置を把握しています。
- 東濃地域のウラン鉱床は、主としておわん形に窪んだ花こう岩の上部に堆積した瑞浪層群のうち土岐夾炭累層^{とききょうたんるいそう}と花こう岩との境界部分などに見られます。



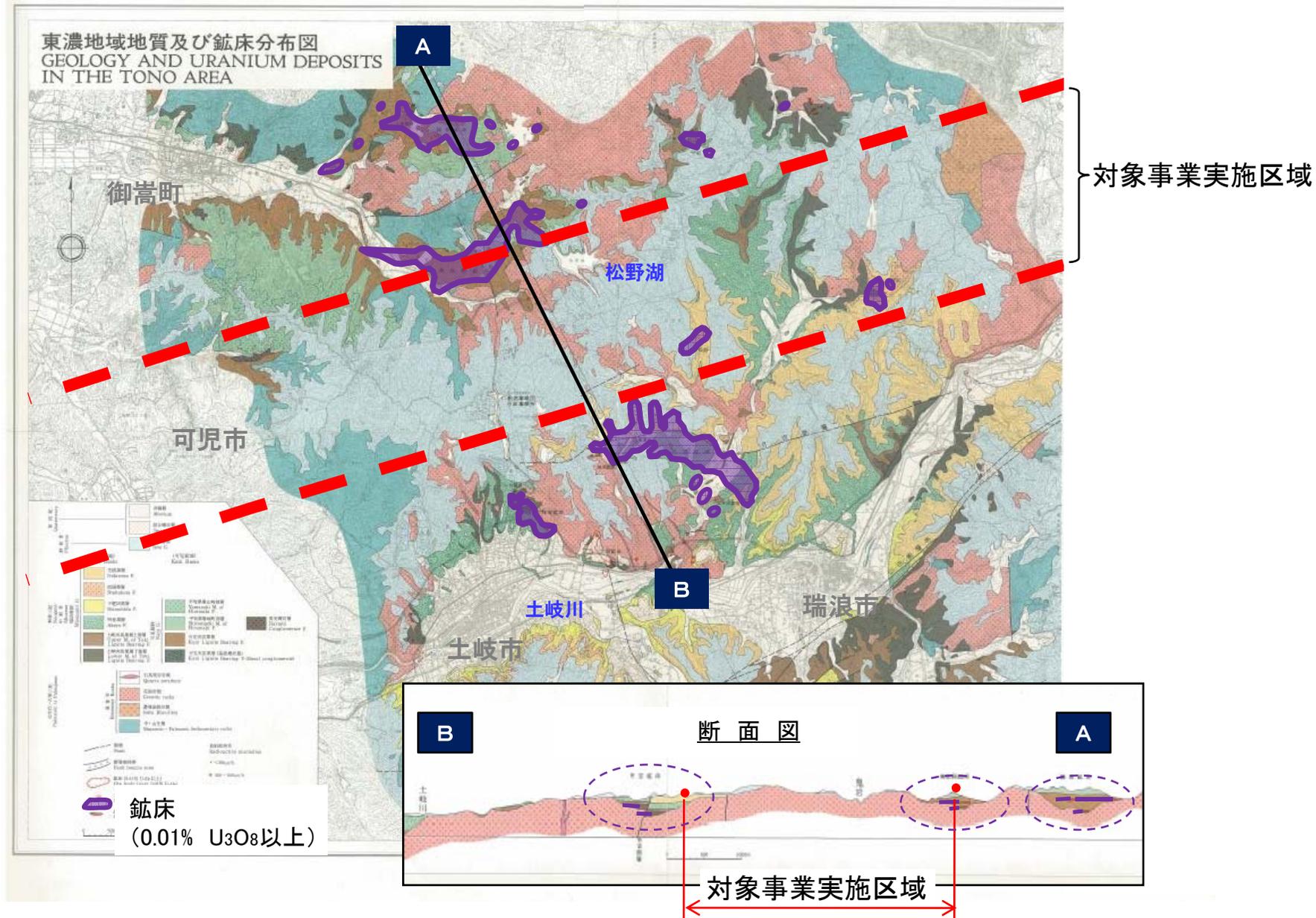
ウラン蓄積箇所のイメージ図

ウラン鉱床の成り立ち

- 地表近くの雨水や地下水により、花こう岩中のウランが酸素と結合して動きやすくなり、瑞浪層群に浸透します。
- 瑞浪層群のうち有機物を多く含む土岐夾炭累層とききょうたんるいそうでウランは酸素が奪われ動けなくなり、ウラン鉱床となります。



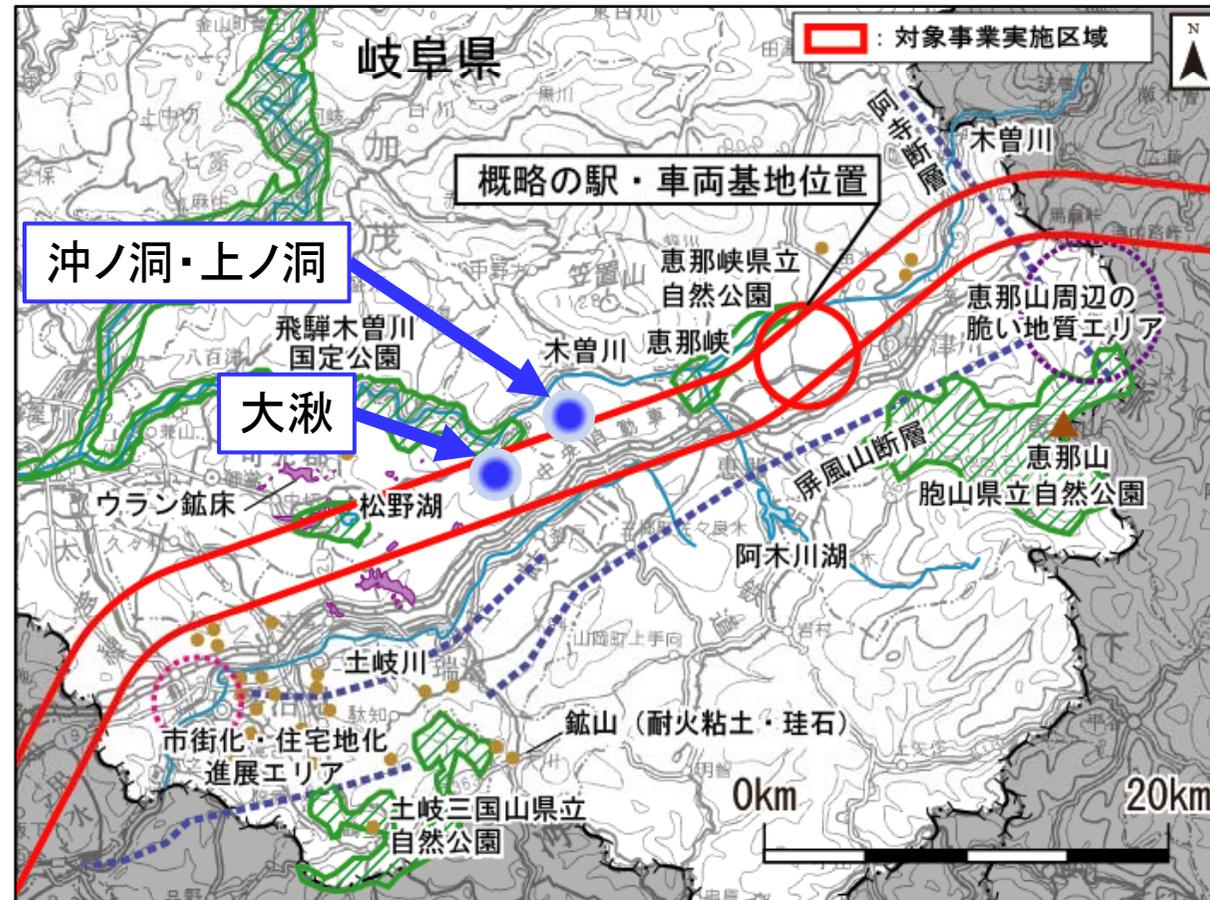
既知のウラン鉱床は回避します



出典:「日本のウラン資源」(動力炉・核燃料開発事業団)に一部加筆

重要湿地

- 方法書における対象事業実施区域では、環境省の「日本の重要湿地500」に選定されている「沖ノ洞・上ノ洞」(恵那市武並町藤)、「大湫(おおくて)」(瑞浪市大湫町)があります。



日本の重要湿地500 選定湿地位置

重要湿地に関する調査結果

- 湧水湿地を対象に、動植物調査を行うとともに、現地踏査及び水文調査を行いました。



シデコブシ



ヒメタイコウチ



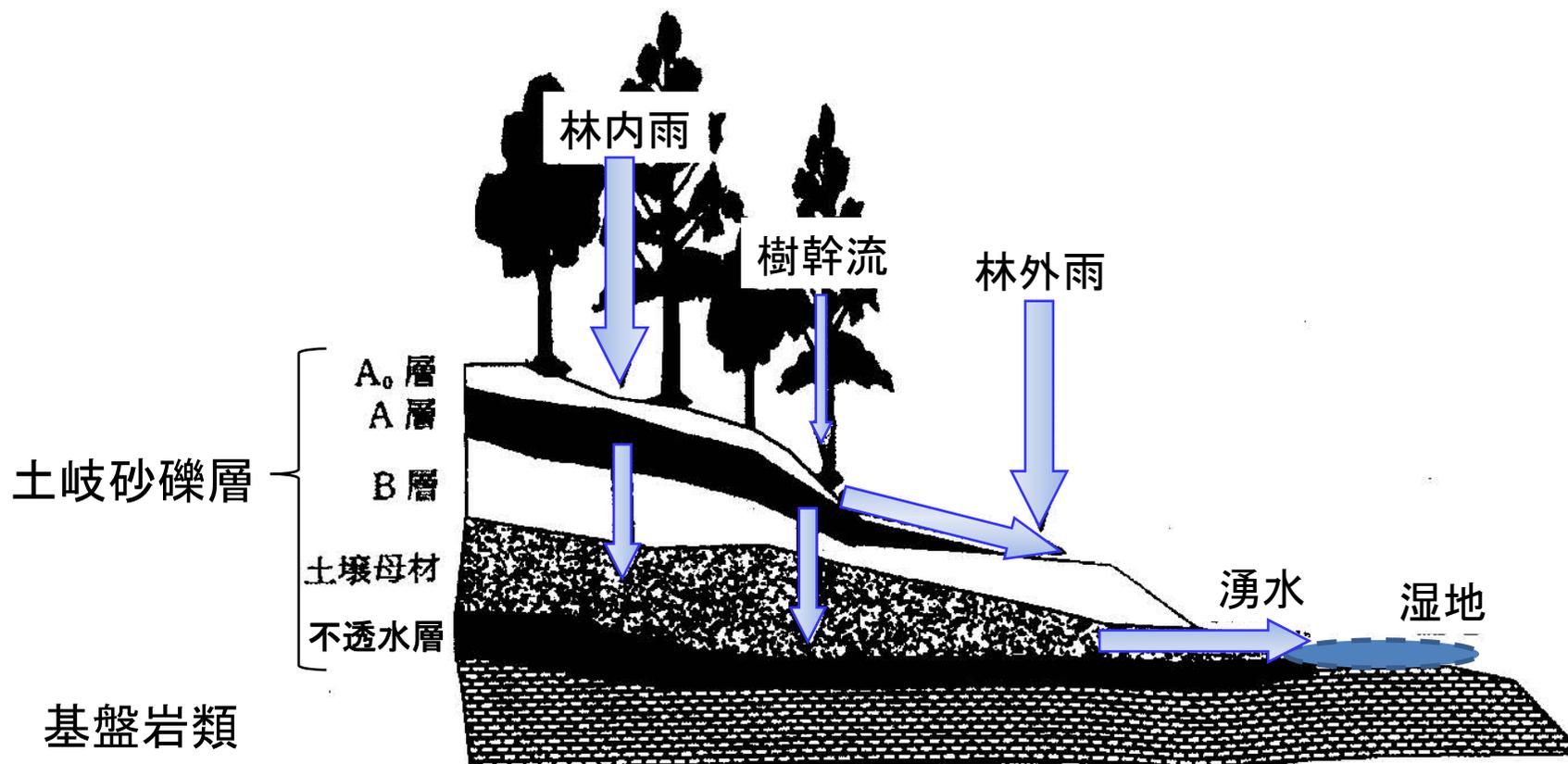
ハナノキ



ミミカキグサ

湧水湿地の成り立ち

- 湧水湿地は、地表付近に分布する粘土等が不透水層の役割を果たし、その上側の砂礫層から湧出する水により涵養されていると想定されます。



重要湿地への対応について

- 貴重な動植物が生息・生育する重要湿地については、できる限り回避するよう路線を計画します。
- やむをえず通過する場合は、トンネル構造とし、環境保全に配慮します。
- トンネルは、不透水層の下の基盤岩類を通過させることにより、その上部の湿地に生息・生育する重要な動植物の環境は保全されるものと考えます。